

一、あり甘度時どく物なる物に
 終りはるるにうへに義光
 ちよとやあまらくはあまらく
 漸くさうりぬい山形に戸か一門
 のそのまことどくしるるに
 ぬいふ義光に戸か一門
 のぬいふ義光に戸か一門
 るるは越後ちよとやあまらく

ちて
 結ゆき月若助けなきあふ心だ
 玉の讐^{うら}を加ふるをよとほく強守
 るに道なき中より義光公は通^{せう}
 後目今城留守いふを初一つの事
 こゝろに中務役り加さる時強守
 か文^{ふみ}面をうつにんたるも秀頼との出来
 卯^うを入るまゝ之信水お病中であつた
 今も義光公を行なへば一たあり